

[東京大学 2006 年前期 理科 3]

O を原点とする座標平面上に、y 軸上の P(0, p) と、直線 $m: y = (\tan \theta)x$ が与えられている。

ここで、 $p > 1, 0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ とする。

いま、傾きが α の直線 l を対称軸とする対称移動を行うと、原点 O は直線 $y=1$ の、第 1 象限の点 Q に移り、y 軸上の点 P は直線 m 上の、第 1 象限上の点 R に移った。

(1) このとき、 $\tan \theta$ を α と p で表せ。

(2) 次の条件を満たす点 P が存在することを示し、そのときの p の値を求めよ。

条件：どのような $\theta \left(0 < \theta < \frac{\pi}{2} \right)$ に対しても、原点を通り直線 l に垂直な

直線は $y = \left(\tan \frac{\theta}{3} \right) x$ となる。

(1) 図のようになることから $\text{OH} = -\alpha$ である。

よって、 $Q(-\alpha, 1)$ で、 $l: y = \alpha \left(x + \frac{\alpha}{2} \right) + \frac{1}{2}$

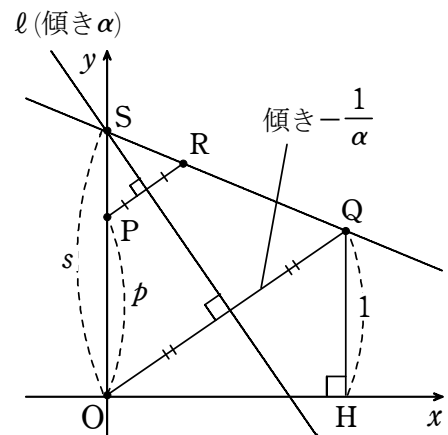
したがって、 l と y 軸との交点を S として、

$\text{OS} = s$ とおくと $s = \frac{1}{2}(\alpha^2 + 1)$ で、

$$\overline{\text{OR}} = \overline{\text{OS}} + \overline{\text{SR}} = \overline{\text{OS}} + \frac{\text{SP}}{\text{SO}} \overline{\text{SQ}} = \begin{pmatrix} 0 \\ s \end{pmatrix} + \frac{s-p}{s} \begin{pmatrix} -\alpha \\ 1-s \end{pmatrix}$$

直線 OR の傾きが $\tan \theta$ であるから

$$\begin{aligned} \tan \theta &= \left\{ s + \frac{(s-p)(1-s)}{s} \right\} \div \frac{-\alpha(s-p)}{s} \\ &= -\frac{s^2 + (s-p)(1-s)}{\alpha(s-p)} \\ &= -\frac{(p+1)s - p}{\alpha(s-p)} \\ &= -\frac{(p+1)(\alpha^2 + 1) - 2p}{\alpha(\alpha^2 + 1 - 2p)} \\ &= -\frac{(p+1)\alpha^2 + 1 - p}{\alpha(\alpha^2 + 1 - 2p)} \end{aligned}$$



(2) l に垂直な傾きについて $\tan \frac{\theta}{3} = -\frac{1}{\alpha} \dots \textcircled{1}$

$\frac{\theta}{3} = w$ とおくと

$\tan \theta = \tan 3w$

$$\begin{aligned} &= \frac{\tan 2w + \tan w}{1 - \tan 2w \tan w} \\ &= \left(\frac{2 \tan w}{1 - \tan^2 w} + \tan w \right) \div \left(1 - \frac{2 \tan^2 w}{1 - \tan^2 w} \right) \\ &= \frac{3 \tan w - \tan^3 w}{1 - 3 \tan^2 w} \\ &= \frac{-\frac{3}{\alpha} + \frac{1}{\alpha^3}}{1 - \frac{3}{\alpha^2}} \\ &= \frac{1 - 3\alpha^2}{\alpha(\alpha^2 - 3)} \dots \textcircled{2} \end{aligned}$$

題意の条件は、どのような θ 、すなわちどのような α (ただし、 $\textcircled{1}$ により $\alpha < -\sqrt{3}$) に対しても $\textcircled{2}$ が(1)の結果と同じになることである。

よって $\frac{1 - 3\alpha^2}{\alpha(\alpha^2 - 3)} = -\frac{(p+1)\alpha^2 + 1 - p}{\alpha(\alpha^2 + 1 - 2p)} \Leftrightarrow \frac{1 - 3\alpha^2}{\alpha^2 - 3} = -\frac{(p+1)\alpha^2 + 1 - p}{\alpha^2 + 1 - 2p} \dots \textcircled{3}$

が成り立つことである。

$\alpha = -2$ のときから $-11 = -\frac{3p+5}{5-2p} \Leftrightarrow p = 2$ であることが必要で、

このとき確かに $\textcircled{3}$ は α の恒等式となる。

よって、 $p = 2$